

2012年1月5日

報道関係各位

株式会社 JCF

関西から日本を元気に！をキャッチフレーズに

学生向け情報番組 **MissCam.TV** が、

2012年1月よりサンテレビで放送開始！

関関同立の2011年ミスキャンパス・準ミスキャンパス8名が出演！

学生達が、番組を通じて「日本を元気に！」します！！

番組連動ウェブサイトも同時オープン！！

若手クリエイターの発掘・育成及びWEB、TV番組等の企画・製作事業を行う株式会社 JCF（本社：東京都渋谷区／代表：柴田慈得）が、企画・製作する学生向け情報番組「MissCam.TV」が、2012年1月より、関西の地上波U局サンテレビで放送を開始いたします。

「MissCam.TV」では、関西4大私学(関関同立)の2011年のミスキャンパス及び準ミスキャンパス8名（関西学院大学ミスキャンパス 2011 グランプリ永島 優美、準グランプリ馬田 さゆり／関西大学ミスキャンパス 2011 グランプリ山崎 千裕、準グランプリ谷口 慧枝／同志社大学ミスキャンパス 2011 グランプリ宇垣 美里、準グランプリ堂本 菜月／立命館大学ミスキャンパスグランプリ林 暁美、準グランプリ伊藤 葉菜）等をリポーターとして起用し、“関西から日本を元気に！”をキャッチフレーズに、地域を元気にする情報、旅やおしゃべり、お隣の国の中国のアニメ情報・学生映画監督などの情報をお届けします。

また、番組のオープニングは、「第10回JCF学生映画祭 in Tottori」(<http://www.jcf.jpn.com/>) 学生アニメAWARDグランプリを受賞した井上有希監督(宝塚造形芸術大学)が、スカラシップとして映像を制作しました。司会も現役大学生（JULIA（同志社大学）、樋口 大喜（関西大学））が担当し、大学生が中心となり「地域を元気に」し、「日本を元気に」することをテーマに、大学の顔として選出されたミスキャンパスが、大学生の「元気の象徴」として、地域活性化や社会問題などを体当たりでレポートしてまいります。

番組連動のウェブサイト MissCam.TV (<http://www.misscam.tv/>) も同時オープンし、スタッフ・出演者による取材や製作こぼれ話などのブログ更新に加え、YouTube を利用したインターネット配信も予定しており、関西地方のみならず視聴者層の更なる拡大を図ってまいります。

このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社 JCF 担当: 廣田

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-24-4

TEL: 03(5775)2661 FAX: 03(6804)2343

URL: <http://www.jcf.vc>

mail: hirota@jcf.vc

■ 「MissCam.TV」 概要

関西4大私学(関関同立)の2011年のミスキャンパスイベントのグランプリ・準グランプリの8名と、2011年のミスキャンパスを中心に全国の学園祭のミスキャンパスが、レポーターとなって、関西・近畿の魅力や日本の魅力をレポート。また、関西エリアのおでかけや旅行のナイススポットも紹介。大学受験生向けに、キャンパスの紹介コーナーや、就活生向けには、就活対策講座もコーナー用意。女子大生目線の情報番組。その他アジアの学生との交流や海外への情報発信などを番組と連動したウェブサイト等で、ソーシャルに展開。

放送期間 :2012年1月～3月

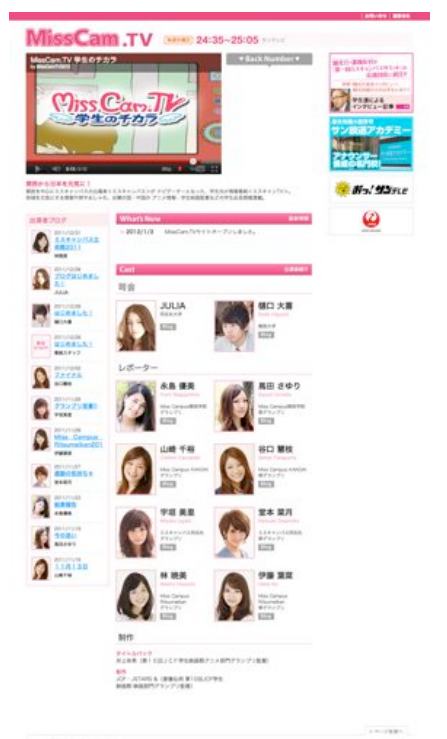
週1回放送、30分番組

放送形態 :スタジオ + ロケVTR

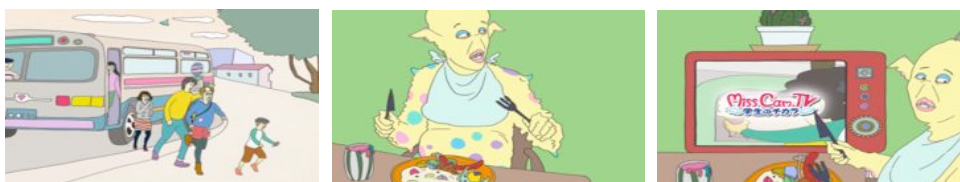
放送局:サンテレビ

放送時間帯:毎週木曜日 24:35～25:05 (1月5日～)

ウェブサイト:<http://www.misscam.tv/>



スタッフ・出演者ブログで、取材や製作現場のこぼれ話などを配信していきます。



「第10回」JCF学生映画祭 in Tottori 学生アニメAWARD グランプリ井上有希監督制作のオープニング映像

■ 出演者

司会



JULIA(同志社大学)、樋口 大喜 (関西大学)

レポーター



関西学院大学ミスキャンパス 2011 グランプリ永島 優美、準グランプリ馬田 さゆり
関西大学ミスキャンパス 2011 グランプリ山崎 千裕、準グランプリ谷口 慧枝 (左から)



同志社大学ミスキャンパス 2011 グランプリ宇垣 美里、準グランプリ堂本 菜月
立命館大学ミスキャンパス 2011 グランプリ林 暁美、準グランプリ伊藤 葉菜 (左から)

<ご参考>

■ JCF 学生映画祭とは

JCF学生映画祭は、1999年、夕張市主催の<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭>の第10回記念特別協賛企画として、当時、949団体が加盟するJCF日本サークル連盟(JCFは、ジャパン・サークル&クラブ・フェデレーションの略)が、<次代を担う映画監督の発掘と育成!>をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出し、2011年に記念すべき第10回目の開催を迎えました。

記念大会となる「第10回JCF学生映画祭 in Tottori」のコンペティションプログラム3部門(学生映画、学生アニメ、鳥取県観光CMアイデアコンテスト)には、合計で451作品の応募を全国から頂き、11月19日(土)・20日(日)の両日、鳥取県米子市のコンベンションセンター(BIGSHIP)で開催され、各部門の入選作品の中から、各部門審査員による最終審査により、グランプリが決定いたしました。

コンペティション各部門のグランプリ受賞者には、それぞれスカラシップ制度での新作

制作支援等が予定されており、本映画祭のキャッチフレーズの〈学生よ！夢を忘れていないか！〉に相応しく、本学生映画祭を通じて、日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指しております。

<JCF学生映画祭 学生アニメ AWARDスカラシップ>

■ グランプリ 宝塚造形芸術大学 井上 有希 <街を背負う男>



【作品概要】街を背負うことが義務であり、背負う街がその人の価値になる世界。

自分の街を肥やし、見栄を張るほど、背中の街に住む人々の生活を背負う責任感は重くなっていく。主人公のヒリピー・ポンはある日失業する。お金もなく、街を背負う喜びを見いだせなくなった彼は、背中の街を海に沈めようとするが、海で同じ考えを持つ女性と出会い、そこで彼は初めて自分と向き合う。

【スカラシップ】サンテレビなどの西日本のU局と鳥取県の地元放送局で、2012年1月～3月に週1回放送を予定している、ミスキャンパスがナビゲーターを務める学生向け情報番組（30分番組）のタイトルバックの制作を担当することが決定。

<審査員>

審査委員長：赤井 孝美（イラストレーター、プロデューサー・米子映画事変委員長）

審査員：高 秀蘭（映画プロデューサー）

審査員：播間 光広（NPO法人喜八プロジェクト監事）

審査員：耶雲監督（第2回JCF学生映画祭グランプリ受賞監督）

審査員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP代表取締役／JCF学生映画祭ファウンダー）

以上